

第 38 回 下呂市上下水道運営委員会

【議事録】

1. 開会（事務局 部長 今村正直）

2. 会長あいさつ

3. 議題

・下水道使用料金改定について（1～10P）

【事務局説明】

資料 1P、2P にある案②及び案③は、前回(第 37 回)上下水道運営委員会で提案したものである。案②よりも案③の方が、良い評価が得られた。更に「超過料金の設定を水道に合わせて細分化したらどうか」という委員からの意見を踏まえ、今回、案④、案⑤を提案するものである。

今回の改定案では、超過料金を細分化した事により、改定率の最大値が 163.4%となり、案③の 174.6%より減少した事により平準化された。

次に、4P の案⑤は、1 回目(令和 8 年度)の改定で 10%、2 回目の改定で(令和 11 年度)10%とし、3 回目については、未定として今後の検討課題とするものである。

その他、3P、5P は各案の用途別に占める負担割合で、7P～8P は水道料金改定も含めた場合の基本水量(10 m³/月)と、一般家庭の平均的な使用量 20 m³における案③から案⑤までの最終的に増加する料金である。結果として 20 m³以下の負担が増額は、どの案も同じくらいとなる見通し。

【委員からの意見】

- ・使用水量が少ない単身高齢者などへの配慮はすべきではないか。基本料金を上げすぎるのはよくないと思う。
- ・大量使用者は、旅館等が主だが(9P～10P 参照)、案③④⑤では、使用水量的(101 m³～300 m³)に介護施設等の事業所もあり、一番料金上げ幅が高い位置にあたるため、負担も大きくなると思う。
- ・大量使用者といっても 9.10P の表をみても件数が少ない。逆に件数が多い使用水量帯の改定幅が大きいので、説明がつかない気がする。
- ・企業などは、収入を得ているため、値上げ時の配慮は必要ないと思う。
- ・企業などの大量使用者は、全体の支出において下水道料金が占める割合は少ないと思う。そのため特別に配慮する必要はないと思う。
- ・下水道事業として経費を抑えることや、下水道未接続の旅館等(大量使用が見込まれる企業)への接続の呼びかけ等尽力すべきだと思う。

- ・下呂市として観光業への配慮をするなら、補助という形をとった方がいいのでは。
- ・入湯税の係数に関して、協議が進んでいない。そのうえで料金改定を進めるべきではないか。
- ・市民への説明では、現在の下水道を維持していくために費用が必要で、現行の料金では賄えないというところにスポットを当てて説明すべき。
- ・水道も下水道も大量処理の方が効率的（スケールメリット）と考える。処理の面では下水（汚水）処理も大量の方が効率は良いが、発生した汚水を処理し、近隣の水環境に還元する環境的な面から、少量利用も大量利用も立場は同じなので、平等な負担とするのは理論的にも一致するため、改定割合は一律とする方(案①)が良いのでは。
- ・使用水量によって料金が下がっていくような設定とすると、不公平感がでるのではないのか。市民への説明が難しいので、値上げは一律とする方が良いと思う。

【事務局のまとめ】

委員からは一律で料金をあげる、基本料金の上げ幅を少なくするべき、という意見が多かった。事務局より、委員会での意見を踏まえ市長に協議し、料金改定の実施方法を決定したい。

・令和6年度決算状況及び令和7年度予算について

令和6年度上下水道事業会計の決算見込み及び、令和7年度の主要事業について説明。

4. 次回開催予定

次回は令和7年10月3日（金）に開催予定

- ・下水道料金改定に伴う市民説明会の開催について

5. 閉会